

1st University Collaboration Meeting between Fukuoka and Busan City

March 9th, 2009

Fukuoka city : KU, FIT, KWU, SGU / Busan city : PNU, KMU, DAU, DEU



▲釜山大学校ワークショップ

NEWS 02

活動紹介

国公立大コンソーシアム・福岡

4大学の良い資源を有効活用し、福岡・博多の「知の拠点」として、
教育研究水準の一層の高度化をめざしていきます。

小川 滋 Shigeru Ogawa

国公立大コンソーシアム・福岡 取組責任者
福岡工業大学社会環境学部 教授

福岡市臨海部に位置する国公立の4大学(福岡工業大学[代表校]、九州大学、福岡女子大学、西南学院大学)による大学院修士レベルの「コンソーシアム・福岡」が、平成20年度の文部科学省「戦略的大学院連携支援事業」に採択されました。

この取り組みの目的は、アジアを展望しつつ環境・エネルギー問題の解決や地域経済の振興に主体的に取り組む指導的な役割を果たすことのできる人材の育成と共に、これらの課題について共同の研究を推進し地域への還元を図る「知の拠点」を福岡・博多に創造することです。この「知の拠点」は、地元自治体、地元企業等の地域社会への貢献、あるいは政府機関への発信と交流、また、東アジア諸国との知的交流等の「知的生産」活動を行うことを目指しています。

この目的のために、4つの連携事業として、①教育連携、②研究連携、③地域貢献、④資源共有(ガバナンス)を行うとしています。この連携事業にあたっては、設置形態の異なる4大学の個性を生かしながらも、連携した教育・研究のシステムをつくり、活動実績を評価しつつ成果を積み重ねていく必要があります。また、この活動の実施体制は、意志決定システムとして、コンソーシアム戦略会議ー推進会議ープログラム開発委員会・共同研究推進委員会、事務局・実務組織としてコンソーシアムオフィス、福岡と中央との情報交流のサテライトとして東京オフィスがあり、外部評価組織として評価・助言を行うアドバイザーボードを持っています。

まず、教育連携においては、コンソーシアム・プログラムによる高度環境人材の育成に取り組んでいます。コンソーシアム・プログラムとは、それぞれの大学で開講されている環境・エネルギーに関連した科目を体系化したもので、4大学に所属する修士課程の学生は自由に聴講し、単位認定を受けることができます。平成21年度に関しては、前期12科目、後期14科目が開講されています。なお、開講に際しては遠隔講義システムの活用も図り、一部の科目については受講者がキャンパス間の移動を伴わなくても良いように配慮しています。

また、21年度9月初旬には4大学の大学院学生を対象とした「4大学合同セミナー」を実施しました。これは、環境・エネルギー



▲遠隔講義の様子

問題に対して自分の専門分野を超えた幅広い視点を養うことと、学生同士の交流促進を目的としたもので、環境・エネルギーに関連した講義や施設見学及びグループディスカッションを2泊3日の合宿形式で行いました。このセミナーには4大学から合計で24名の参加があり、終了後のアンケートでは「他大学の人との交流により視野が広がった」などとする感想が多く寄せられました。

また、10月より「産業界研究セミナー」と題する大学院1年生を対象とした就職活動支援セミナーを1ヶ月に1度の割合で開催しています。これは、一般的な会社説明会とは異なり、各分野の最前線でご活躍の皆様に仕事の魅力や求められる人材像などを東京オフィスからの遠隔講義で語って頂くものです。現場での体験に基づく率直な内容が、毎回好評を得ています。

研究連携の面においては、4大学の研究者による共同研究を支援し、より一層の大学間の連携強化を目的として研究助成事業を実施しました。これは、4大学に属する複数の研究者による共同研究を対象として単年度の研究助成を行うもので、各大学学内での一般公募及び共同研究推進委員会での審査を経て、6件の課題が採択されました。本助成をスタートアップとして次年度以降の継続的な研究の発展が期待されます。

また、地域貢献の面では一般向けに環境・エネルギーに関する諸問題を分かりや

く説明する5回シリーズの市民公開講座を9月から実施しました。講師には4大学の研究者のみならず、地元自治体や環境関連のNPO関係者も加え、幅広い分野の情報提供を行いました。各回とも200名弱の参加者があり、盛況の内に終了致しました。また、九州大学・G-COE「新炭素資源学」などの他組織とも積極的な連携を図り、セミナーもしくは公開講座の共催を行っています。

一方で、本コンソーシアムは東アジアとの連携強化にも努めており、本年3月には釜山大学校でのワークショップを開催しました。ワークショップではコンソーシアム・福岡を構成する4大学に加えて、釜山市内に拠点を置く釜山大学校、東亜大学校、東義大学校、韓国海洋大学校の4大学関係者の参加があり、それぞれの大学の概要及び環境・エネルギーに関連した研究の紹介等を行いました。韓国側の各大学は連携について前向きな姿勢を持っており、今後の研究や教育面での連携強化が期待されます。

これらの一連の事業は4大学の関係スタッフの協働で成し遂げられ、それぞれの大学の得意分野・強みが相補的に効果を発揮したものと考えています。

今後ともコンソーシアム・福岡の活動にご期待下さい。